

脱原発の思い伝わるメッセージ

賛同申し込みや、署名に添えられたものの一部を公開

六月一五日に「さようなら原発一〇〇〇万人署名」と「さようなら原発大集会」の二つの運動をスタートしました。この運動を応援してくれる人を募集したところ、二〇〇人の方が賛同人になってくれました。また個人で署名を集めて送ってくれた人も、既に八〇〇人を超えています（とにも八月一七日現在）。賛同の応募用紙や署名には、たくさんの方のメッセージが添えられていました。その一部を、ここに掲載いたします。

賛同人からのメッセージ（敬称略）

●山崎朋子（作家）

私の同級生は一三歳で、広島で被爆死しました。生き残った者の責任として、日本国憲法に基づき、「反原発」を貫き通します。

●藤井石根（明治大学名誉教授）

安心・安全・健全な環境保全を考えたら原発の存在など有り得ない。お互いに力を合わせ我々の希望を貫徹しましょう。

●湯川れい子（音楽評論・作詞）

この小さな地震列島に、まだ人間が使いこなせない原子力発電所を五四基も造ってしまったことの違いに、素直に気づきましょう。そして、自分たちが作ってしまった物は、責任を持って、自分たちでなくしていきましよう。今こそ、最初で最後のチャンスです。世界に

先駆けて、日本が理想の安全社会を築いて見せましよう。

●宇沢弘文（経済学者）

さよなら原発に賛同します。アクションには病入入院中のため参加できません。運動の拡がりをお願いいたします。

●山田 真（小児科医・子ども放射能から守る小児科医ネットワーク発起人）

子どもたちにこれ以上の被害を与えないため、小児科医としてなんとしても原発を廃止せねばと思っています。

●樋口健二（フォト・ジャーナリスト）

原発は人類と絶対に共存できるものではなかった。たくさんの方の被曝労働者を犠牲にしながらかも「平和利用」などとまやかしの言葉で欺き続けてきた。今こそ、全原発を廃炉にする政策に踏み切る方策をとるべきだ。私

は三八年間下請け労働者の被曝実態を追及してきたので、その結論を出すべき時と考える。勇気ある政策を期待する。

●福武公子（弁護士）

安全設計審査指針も耐震設計審査指針も甘く、過酷事故が起らない事故想定をして安全審査を行い、裁判所もそれを是認してきたということがよくわかりました。シビアアクシデント研究を何のために行ってきたのか？ 事業者も規制側も、研究者も、反省すべきです。私たちも追及が足りなかったと反省しつつ…。

●武田隆雄（日本山妙法寺僧侶）

菅首相がサミットで「原発容認・存続」をはっきりと言いました。私たちははっきりと「原発廃炉」といいます。合掌

●池内 了（総合研究大学院大学教授）

脱原発のためには、私たち自

身の省エネルギーの努力、自然エネルギーへの行動が欠かせません。それ抜きにしては、目標の達成ができず、運動は長続きしないでしょう。私たちの覚悟の場となると思います。

●上野千鶴子（NPO法人ウイメンズアクションネットワーク理事長）

もっと早くに、こんな高い授業料を払う前に、原発にサヨナラしておくべきでした。かえすがえすも、痛恨の思いです。

●井出孫六（作家）

日本列島には津波と地震に有史以来明け暮れてきた土地柄で、原発に最も普遍的な条件であるに拘らず五四基の原発が建っています。一刻も早く、なきものにすることが、迫られていると考えます。提唱しましょう。

●五十嵐二葉（弁護士）

原発事故への現政権の対応のまずさもさることながら、福島



原発の過去の事故を隠してきた、安全性を考えず原発を容認してきた前政権（自民党政権）の失敗も含め検証とやり直しを提唱しましょう。

●ピーター・バラカン（プロドキャスター）

やればできる。まずは人々の安全を。他のことは全てその後を考えればいいのです。

●古今亭 菊千代（落語家）

「脱・原発」は、自分の、家族の、子孫の問題。目先の利害関係よりもっと先のことを見て声をあげましょう。

●古川 純（専修大学教授）

原発は核分裂⇨核爆発であ

り、被曝は被爆よりも深刻です。「原子力の平和利用」論を反省し、ただちに全原発の廃炉化と早急な再生エネルギーへのシフトを求めます。

●大石又七（元第五福竜丸乗組員）

半世紀以上も核放射能内部被曝の恐ろしさを訴え続けてきております。

●山田洋次（映画監督）

この運動が、日本中に広がっていくことを願います。

●神田香織（講談師）

「はだしのゲン」や「チェルノブイリの祈り」を語って脱原発を講談で訴えてきたのに故郷福島県がこのような目に……。悔しいです。一人ではどうにもならないが、その一人一人が集まれば大きなうねりとなるはずです。連帯しましょう！

●浅野健一（同志社大学教員）

広島・長崎、チェルノブイリ、福島を経験した私たち市民は核兵器と原発をこの地球から直ちに廃絶しなければなりません。福島島の事件をあらゆる手段で解決に向かわせ、原発に象徴される米国型の新自由主義・軍事優先の社会経済構造を解体し、人間が類として自由に生きられる社会を構築しなければならな

い。人民が統治するデモクラシーをつくっていきましょう。

●香山リカ（精神科医）

目的なき前進の歩みを止め、原子炉の火を消す。本当の心の成熟が、今、試されている。

●加賀乙彦（作家）

原爆が悪魔の爆弾であったように、原発も悪魔のエネルギーです。

●小室 等（フォークシンガー）

全面的に賛同します。原発のことは我々が考え続けなければいけないことだと思っています。

●久田 恵（作家）

子どもたちに原発のある日本を遺してはいけない、と思えます。今こそ、自分のスタンスをはっきりさせて、そのための努力を続けていくことが、私たち大人の責任だと思います。

●野田美佳（打楽器奏者）

実は私には「原発要らない！」という言葉を表すのは、勇気が要ることでした。「二〇〇〇万人が動けば、かえられる」。このことを信じて、小さなひと言ですが、「原発いらない！」と言います。希望を持って、「持続可能で平和なみんなに優しい、社会」を目指していきます。

●池澤夏樹（作家）

「昔、原発というものがあつた」と言える日まで力を合わせましょう。

●森 詠（小説家）

原発は人間を破壊し、人間社会を崩壊させるだけでなく、自然をも破壊します。人間以外のあらゆる生物の生命の分も含めて、原発に反対します。原発はもうありません。

●山中 恒（作家）

原発推進のからくりがぼろぼろ暴露されています。それをかくして国民をだまし続けた自民党、それに迎合したマスコミの責任が問われる時期が来た。

●吉原 毅（城南信用金庫理事長）

原発に頼らない安心できる社会を実現しましょう。

●藤原寿和（廃棄物処分場問題全国ネットワーク共同代表）

今回の東日本大震災を契機に敗戦後の日本の社会のあり方の総体を問い直さなければならぬと思います。とくに原子力行政のあり方をめぐっては、スリーマイル事故、チェルノブイリ事故を経験しながら人類共通の課題として原子力政策・核政策の根本から転換を実現することができませんでした。私たち

は次世代への責任として足元から変革していかなければならないと思います。

●矢口敦子（作家）

脱原発の機運が盛りあがってきた契機が悪夢のような原発事故だったことを思うと、悲しくて悔しくてたまりません。でも、嘆いているばかりでは、現在から未来までを含めた被害者の方々に申し訳がたちません。できるだけ早く、すべての原発を永久停止にもっていかなければ！

●鎌田 實（医師、作家）

どつちなのと聞かれると、原発はない方がいいなあと、答えています。



署名用紙に添えられたメッセージ

●このようなたらきかけ、ありがとうございます。原発絶対反対です。よろしくお願いいたします。

●心より厚くこの運動に賛同し、一日も早く脱原発が実現するように祈っております。どうぞよろしくお願いします。総筆数七〇名の署名用紙をお送り申し上げます。御查收下さいませ。

●五人分です。子ども達の為に、明るい未来を作っていくたいです。どうぞよろしくお願いします。

●署名九名です。一〇〇〇万人アクションの成功を！

●脱原発運動には共感しております。私が原発に懸念を抱いておりますのは、いったん稼働された原発には高濃度の放射性廃棄物が生じるとい問題です。

●廃炉にしてもそれは残り、現時点で考えられる処分方法は、地層処分ぐらいしか方法がなく、それとても、ただ単に地下深い場所に貯蔵するというだけで、安全になるまで、一説には一〇万年もかかると言われてお

ります。気の遠くなるような話です。地層の変動等を考慮したら、いったい、今後一〇万年も安全に保管する方法などあるのでしょうか。

●国内では、既に五四基の原発が運転中止中のものも含めて、稼働しているながら、高濃度放射性廃棄物の最終処分方法さえ確立されておりません。おろかな原発は即時廃止し、残った放射性廃棄物をどのように処理するのか真剣に考えなければなりません。これは現在に生きる我々の最低限の責務ではないでしょうか。実行委員会の皆様、ご苦労様です。世界から原発がなくなるまで共に戦っていきましょう。

●一〇人分です。苦勞して集めました。なくさないでくださいね。

●今回の署名運動については、新聞の小さな記事を見て、友人たちに声をかけ、現在広がっています。私は明日より日本を留守にし、九月末まで帰国しないため、取り急ぎ集まった分だけ同封します。

●前略 チェルノブイリ事故からずっと、本も読み気になってきたことが、今回日本で起きて、大変悲しいです。私達大人は、未来を、子供・孫に残せるのか。凄まじい環境破壊の中、その上、最悪の核汚染に……。私は声を上げねばと思いましたが、よろしくお願いいたします。

●署名活動を計画いただきありがとうございます。二〇名の方が即座に賛成してくれました。がんばりましょう。

●人間が制御・管理が技術的に困難な原発は不要です。「脱原発」運動から実地的な脱原発に向かつて一緒にやり遂げましょう。出来る事から協力したいと思います。

●私個人が集めました。一〇名分です。

●署名人数 夫婦のみで微力にしかありませんが、お納めください。今、自分ができることを、実行に移せる様と思っています。日本の地球の未来のために少しでも力になれば。

●朝日新聞で「脱原発」署名呼びかけの記事の欄を拝見し、今回福島第一原発事故を受け、テレビ、新聞等で映像、今も被爆の不安を抱えながらも大切な家族の

為、国民の為と命懸けで作業に向かう方々、原発よって長期に渡り住む場所を離れざるを得なくなった方々を思うと、未来の日本の在り方を考えるべき決断の時に来ていると切に思います。手遅れになる前に行動を起こすべきだと思ひ、協力致します。一〇名分の署名を頂きました。国民投票へも持っていくたい思ひです。お願い致します。

●原発で作った電気等使いたくない思ひで一杯です。一〇人分の署名集めました。よろしくお願いします。

●太陽光のエネルギーを活用したいと思ひ、一年半程前より太陽光発電パネルを設置しております。今になっては本当にかかったと思ひます。

●家族四名のささやかな署名ですが、お送りさせて頂きます。私たちの後に続く人々に、負の遺産を残すことは許されないと思っております。

●ご苦勞様です。署名一〇名です。九・一九さよなら集会、必ず行きます。

●たった家族三名分ですが、子や孫のため署名簿をお送りしま



すので、よろしくお願ひします。私は通勤時に東京新聞を買っており、記事でこのことを知ったのですが、インターネットだけでなく、もつと新聞広告、雑誌や街頭署名等により広くみんなに呼びかけた方がよいと思います。

●要請事項に大賛成です。共に頑張りましょう。酷暑の折、ご自愛下さい。

●先日は署名用紙を送っていただき、ありがとうございます。原発には、大勢が憤慨しております。まだまだ署名したい方が居ります。お手数ですが、又署名用紙を送っていただけないでしょうか。

お忙しいでしょうが、どうぞよろしくお願ひ致します。暑い折、皆様の御健闘をお祈りいたしております。

●東京新聞の記事を見て、署名を集めました。個人の反対の気持ちを表す事のできないうらだちを感じていました。なんとしても、原発を止めて、新しいエネルギーに研究開発の目を向けて欲しい気持ちでいっぱいです。呼びかけ人の皆様のお力を

借りて、個人の声を政府に届けてほしいと願っています。

●早速、書類をお送りいただき、有難うございました。私人分の署名だけで大変申し訳ないのですが、祈りを込めて書かせていただきました。何としても脱原発へ進むことができます様、皆様のお仕事を陰ながら応援しております。御苦労様です。有難うございます。

●少なくともすいません。でも本

気で反対です。こうした活動をしてくださって、本当にありがとうございます。よろしくお願ひします。

●ごくろうさまです。

この度、「原発にさようなら一〇〇〇万人署名」の趣旨に賛同し、こちら山形の地でもこれから友人と話し合い、運動に参加したいと思います。

つきましては、署名用紙を二枚ほど送っていただけないでしょうか。それを原



稿に、こちらでコピーしてとりくみたいと思ひますので、よろしくお願ひします。猛暑の折、体調に留意されたいご活動ください。

●大前提として、人間が制御できないものは、やめるべきです。

今もつて、電力不足からくる不安なことさら煽り、早期再稼働を目論む利益集団(業界・官僚・政治家)の輩。国民(人類)の生存を脅

かしてでも、甘い汁を吸いたいかの。

たった二名ですが、小市民としてはこれが精一杯。一〇〇〇万人達成できることを祈っております。運動、がんばってください。

●去る六月二二日に銀座で、私の妻の絵画展を開催。六月二八日までの一週間に来場された方々にお願ひして署名していただきました(署名用紙一四枚一四〇名)。署名をお願ひした方のうち、お一人だけを除き、皆様、積極的に賛同していただき、事柄への関心度の高さに驚かされました。

未来の子供達への責任のためにも、何としても原発の撤廃を心から祈るばかりです。どうか、この運動が実を結ぶよう、益々のご健闘を祈っています。

●生きとし生けるもの全て、これから生まれ来るもの全て、地も海も山も「沈黙の春」の世界では存在出来ませんよね！

風にゆれる 花みる人は 誰もなし

●どの団体にも所属していませんので、直接お送りします。少ないのですが、身近な人にお願

いしました。一〇名分です。

●早速署名用紙ご送付ありがとうございます。五〇年前、名大坂田先生の呼びかけで原発反対運動をしたことを思い出しします。

官・財・御用学者にまけたことを悔やんで八五となり、独居、歩行困難で署名を集めることができず申し訳ありません。ヘルパーさんとご近所の方だけでお許しください。少々ですがカンパ同封します。 合掌

●連日のご活躍、本当にお疲れさまでございます。署名用紙をお送りさせていただきます。要請事項の実現に向けて、ともに頑張りましょう。

●こんにちは。署名活動がんばってください！ 九名分です。よろしくお願ひします。

●御活躍ご苦労様です。少しでもお役にたてればと署名を致しました。陰ながら応援いたしております。がんばってください。

●総数一名となります。私人は過日署名して送付させていただきます。どうか皆様、よい実を結びますようお願いいたします。心よりお祈りしております。